

令和8年度第1回

国土交通省大臣官房官庁営繕部コンプライアンス・アドバイザリー委員会

議事概要

開催日及び場所	令和8年7月22日（水）WEB開催
出席委員	委員長 田辺 新一（早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授） 委員長代理 浦江 真人（東洋大学理工学部建築学科教授） 委員 関 葉子（銀座プライム法律事務所 弁護士） 弥永 真生（明治大学専門職大学院会計専門職研究科教授）
議題	令和7年度国土交通省大臣官房官庁営繕部コンプライアンス推進計画実施状況評価報告書について
委員からの主な意見	
働きがいの向上等を図るためのレイアウト変更等の改装は大変いいことである。	
これまでは、たくさん仕事を取りたい人がいて不当な働きかけが生じるという懸念があったと思うが、今は非常に建設費が上がって、逆に言うと発注者側の職員が今年度以内とか期限内に発注しないといけない、終わらせないといけない等のプレッシャーが大分大きくなっているような気がする。そういう面も含んで風通しがいい、上司に相談しやすいということが記載されるとよいと思う。	
質疑等	
委員からの質問等	回答
最近見られるAIの発達を踏まえたサイバー攻撃からの対策等はされているのか。	サイバーセキュリティについては、国交省内の情報管理担当の部署を中心に対応している。
本コンプライアンスの取り組みは本省のみなのか地方も含まれているのか。	本資料については、本省の官庁営繕部が実施したものを記載している。地方整備局においても、国家公務員倫理法等に則り、しっかりとコンプライアンスに取り組んでいる。
新規の採用や職員の定着率を確保する観点から、環境改善の余地があるかなどチェックする仕組みはどうなっているのか。	国交省全体で組織変革（CX）の推進として、職場環境をハード・ソフト両方で改善していこうと、オフィス環境や働きがいの向上といった面で様々な取り組みを行っている。